

会 議 録

平成 27 年 1 月 30 日調製

審議会等名	平成 26 年度 第 2 回 生涯学習推進会議		
公開の別	全 部 公 開		
開催日時	平成 26 年 12 月 17 日(水) 午前 10 時～11 時		
開催場所	三条市中央公民館 大集会室	傍聴者	なし
		報道機関	なし
出席者氏名	委員 丸山 正夫委員(会長) (7人) 小林 斉子委員 野崎 輝子委員	高橋 美智子委員(副会長) 大津 正行委員 皆川 孝夫委員 関川 早苗委員	
	(欠席) 井上 浩仁委員	佐々木 昭雄委員 金井 康子委員	
	職員 長谷川生涯学習課長 (4人) 阿部生涯学習推進係長	金子生涯学習課長補佐 伊藤生涯学習推進係主事	
議 題	(1)第2次三条市生涯学習推進計画(案)について		
	(2)今後のスケジュールについて		
	(3)その他		
会議内容	別紙のとおり		

丸山会長	<p>本日はお忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。定刻になりましたので、これより平成 26 年度第 2 回生涯学習推進会議を開催します。</p> <p>初めに、長谷川生涯学習課長から挨拶をお願いします。</p>
長谷川課長	<p><課長挨拶></p>
丸山会長	<p>それでは、本日の会議は、第 2 次三条市生涯学習推進計画(案)についての審議でございます。</p> <p>この生涯学習推進計画につきましては、今年度で 8 年間の第 1 次三条市生涯学習推進計画期間が終了することから、平成 25 年 12 月に「生涯学習に関するアンケート調査」を実施し、平成 26 年 4 月から 5 回にわたって、計画策定作業部会を開催し、慎重審議を重ねてきたところであります。</p> <p>また、策定作業部会には、私と高橋副会長、小林委員からお入りいただき、社会教育委員の代表 4 人も加えて 7 人で、昼夜を問わず、熱心に策定作業を進めていただき、ここに計画(案)としてまとめあげていただきましたことは本当に感謝を申し上げるところであります。</p> <p>さて、生涯学習推進会議設置要綱中の所掌事項、第 2 条第 1 項第 3 号に「生涯各期の学習課題と学習計画に関すること。」と明記されています。</p> <p>まさに、この生涯学習推進会議に託された根幹の部分でありますので、委員の皆様からは慎重審議のうえ、承認を頂きたいと思っております。どうぞ、御理解と御協力のほど、よろしくお願い申し上げます。</p> <p>議事に入る前に、配布資料の確認を、事務局お願いします。</p>
阿部係長	<p><資料確認></p>
丸山会長	<p>それでは、議題(1)第 2 次三条市生涯学習推進計画(案)について、事務局説明をお願いします。</p>
長谷川課長	<p>—資料No.1 により説明—</p>
丸山会長	<p>今ほど、事務局から第 2 次三条市生涯学習推進計画(案)について、説明がありました。委員の皆様のお意見を頂戴したいと思いますが、いかがでしょうか。</p>
小林委員	<p>推進計画(案)33 頁生涯学習のすそ野を広げる事業の展開について、【主な取組】で噂の企業と、先ほど課長は三条市内の企業を例にお話されておりました。また、資料No.1、3 頁の方では神宮外苑のいちよう並木を噂の場所という位置付けの中でお話をされたのですが、それと融合させたスマートウェルネス融合事業の実施がなかなか結び付きません。策定作業部会では、この「噂の企業」という言葉は入れてなかったと思います。要は、生涯学習とスマートウェルネスの融合事業が、噂の企業・場所と融合させたスマートウェルネス融合事業と</p>

	<p>ということと思いますが、どんなものを想像して、どんなものをセッティングした中で、これが実施可能なのでしょうか。企業を限定しているわけではないですが、この部分とスマートウェルネスの融合というのは、私は違う観点で考えていたものですから、こういう書き方をされると、少し違うのではないかという気がします。</p>
阿部係長	<p>作業部会では、弥彦線高架下緑道やこれから整備される(仮)全天候型広場を社会教育施設に含んだ中で、そういったスマートウェルネスという視点を持った事業を展開していくという内容だったと思います。</p> <p>噂の企業であったり、場所ということであれば漢学の里ただという道の駅がありますが、そこに出掛けて行って事業を展開する。また、まちなかの社会教育施設を結んだ中で有機的な連携事業等を考えているところでもあります。</p> <p>作業部会では「企業」という言葉は使いませんでした。「場所」ということで議論をしてきたと思います。</p>
小林委員	<p>噂の企業というのがイメージできません。</p>
長谷川課長	<p>当初のワーキンググループでは、今申し上げましたとおり、(仮)全天候型広場で、住民の方々の潜在意識への情報提供をしていきます。その中で、せっかく有機的な企業があり、色々なことをやっている。品物は良くてもなかなか売れないのが現状という中で、そこをうまくやっているのはノウハウがあるからだと思います。たまたま三条市内の企業の名前を挙げましたが、そこだけではなく、そういった民間企業が目線を持ちながら、新たな生涯学習の目を向けさせることができるのではと思います。そういう風に御理解をいただきたいと思っています。</p>
小林委員	<p>今の説明はわかりましたが、「噂の」は、削除してはいかがでしょうか。「企業」で十分だと思います。</p>
丸山会長	<p>他にございませんでしょうか。表紙はこれで決定でしょうか。</p>
阿部係長	<p>表紙は作成中で、これはイメージです。まだ決まっておられません。</p>
野崎委員	<p>私が住んでいるところは鶴田で、三条の端の方なのですが、声が届きません。中心が動くというように受け止められます。私達が住んでいるところの公民館などにも、すそ野を広げていただきたいと思っています。地域の活性化をすることによって、生涯学習のすそ野を広げていただきたい。</p>
長谷川課長	<p>そこが、私共の目指しているところでもあります。まちなかだけではなくて、公民館の職員についても、今、質を上げるための研修をしております。住民の</p>

	<p>目線に立った、今までよりも少しでも居心地のいい場所に変えていきたい。それと同時に、生涯学習推進計画に基づいてどのような形で地域に広げていくか、より利便性を上げていくかということに苦心しています。8年間、全ての地区、公民館のあるところは全てということで、各地区館と連携してやっていきたいと思います。</p>
野崎委員	<p>公民館の方は色々と考えてくださっているのですが、ただ「こういうのをやります。足を運んでください」ではなく、外にアクションを起こしてもらいたいと思います。ぜひ、お願いします。</p>
丸山会長	<p>他にございませんか。</p>
大津委員	<p>8年間の計画ですが、評価についてどのようにお考えでしょうか。8年後、どうなれば、この推進計画は成功だったと言えるでしょうか。</p>
長谷川課長	<p>無駄なものを廃止して新たなものを計画していく中で、指標を確認しながら、その間に色々な御意見をそれぞれの地区公民館が受けて、現場の地区公民館で情報を得て進めていきたいと思います。</p>
大津委員	<p>基本目標の「市民一人ひとりが生きがいを持って学びあうまち」になったかどうかという評価をどうするかということもありますが、市民アンケートから評価するという手もあると思います。例えば各講座の参加者数を、平成 27 年は 440 人だったのを 30 年には 800 人にしたいということもあると思いますが、これは手立てとしての数字ですよね。トータルとして、基本目標としてどういう風になったかというのは、また決める必要があると思いますし、8年間という長いスパンの中で忘れてしまうものもあるので、3年ごとにPDCAを回しながら、市民に分かるように知らせて、また御協力いただくのかなと思いました。</p>
阿部係長	<p>1年間生涯学習に取り組まなかった人の数値を、8年後に30%以下にすることが我々に課せられた大きな課題だと思っています。</p>
丸山会長	<p>本件につきまして、御承認していただけますでしょうか。</p> <p><異議なし></p> <p>ありがとうございました。</p> <p>続きまして、議題(2)今後のスケジュールについて事務局より説明をお願いします。</p>

阿部係長	－資料No.2により説明－
丸山会長	それでは本日協議いただく議事はすべて終了しました。以上を持ちまして、平成 26 年度第 2 回生涯学習推進会議を閉会します。御協力ありがとうございました。
高橋副会長	高橋副会長から、閉会の挨拶をお願いします。 <副会長挨拶>